

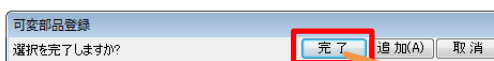
## 可変部品の使用方法 I

### 初級編【水平方向の可変部品（数式入力なし）の作成、及び配置】

部品配置時に変形可能な「可変部品」の使用方法について記載します。  
本解説書は、図脳 CAD 部品集「M10ボルト1.zrp」を基に解説しております。

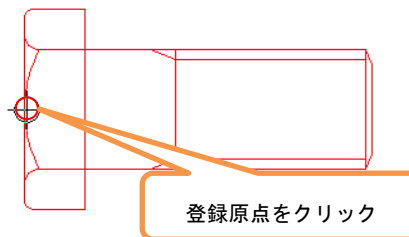
#### 水平方向の可変部品の登録

1. [作図]-[可変部品]-[登録]コマンドをクリック。
2. 可変部品として登録する図形要素を選択します。

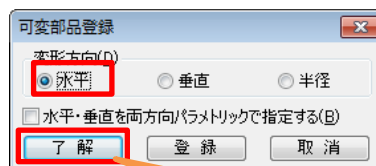


[完了]ボタンを押す

3. 登録原点をクリックします。

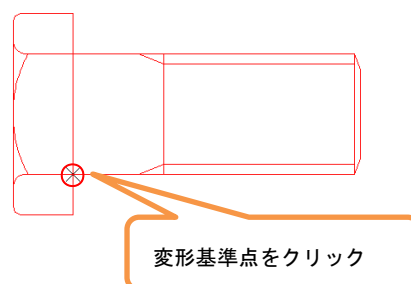


4. [水平方向]にチェックを付けて[了解]ボタンを押します。

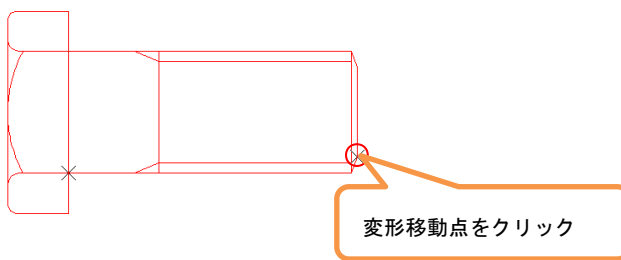


[了解]ボタンを押す

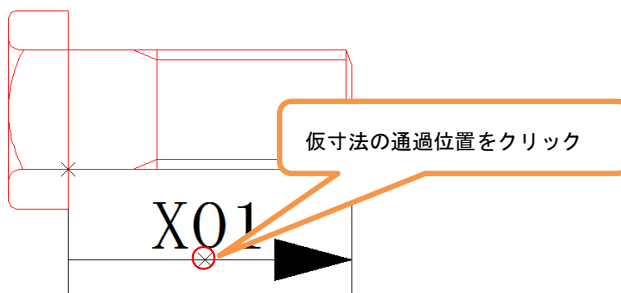
5. 変形基準点をクリックします。  
(変形する際の基準となる点です。)



6. 変形移動点をクリックします。  
(変形する際の移動方向を指定します。)



7. 仮寸法の通過位置をクリックします。  
([可変部品配置]ダイアログボックスで表示される仮の寸法線です。)

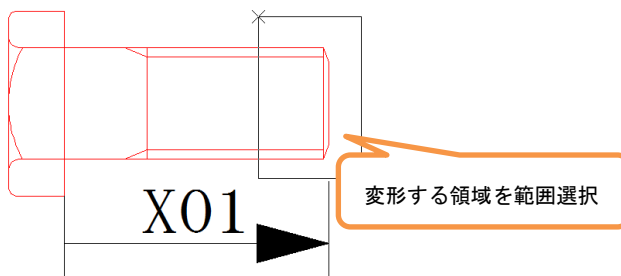


8. 変形部分の寸法値を配置時に直接入力する場合には数式入力を [しない] に、他の変形部分の寸法値を参照して変形させる場合は [する] に印を付けます。

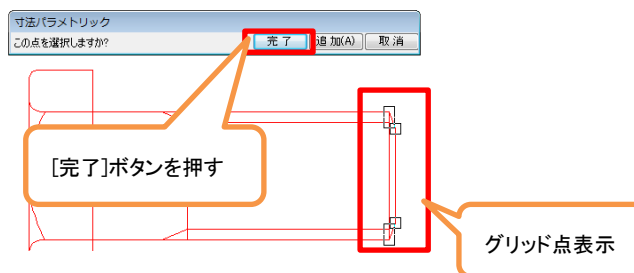


今回は[しない]に印を付けて[了解]ボタンを押します。

9. 変形する領域を範囲選択します。

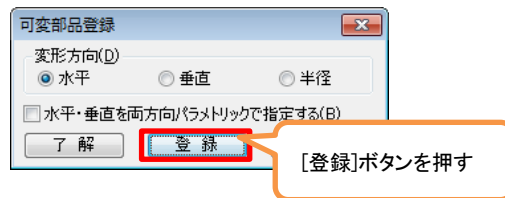


10. 変形する箇所のグリッド点が表示されます。  
[完了]ボタンを押します。

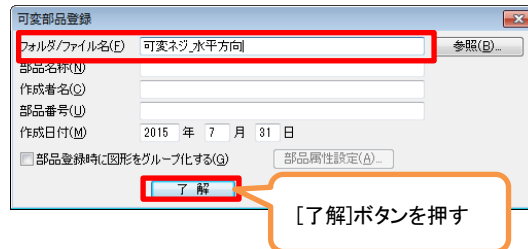


11. [登録]ボタンを押します。

※引き続き可変箇所の登録を行う際には、[変形方向]を指定して[了解]ボタンを押します。

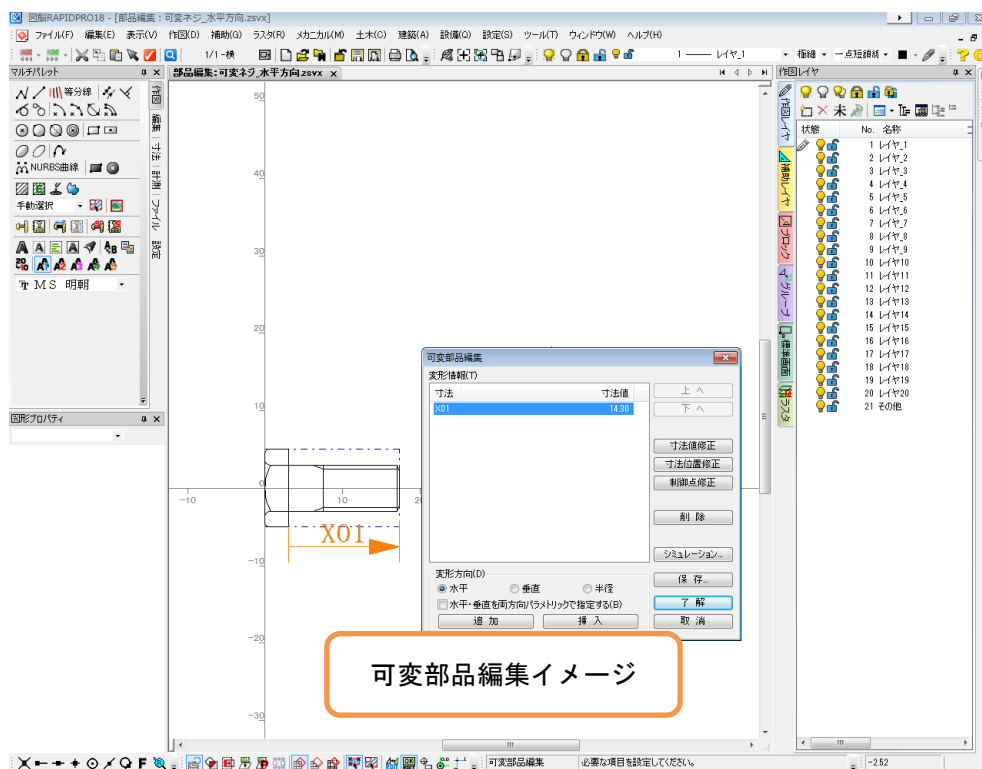


12. [フォルダ/ファイル名]欄に可変部品名称を入力し、[了解]ボタンを押します。



以上で水平方向の可変部品の登録が完了しました。

オプションキットのメカニカルキット「メカニカルキット for 図脳 RAPID Ver.4」があれば、登録した可変部品の修正を行うことができます。



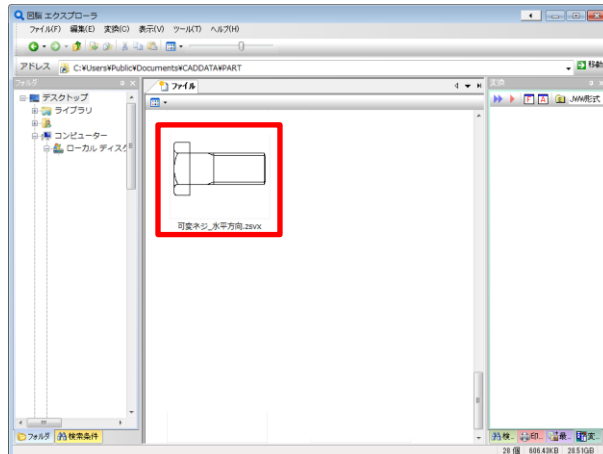
引き続き、登録した可変部品の配置を行います。

## 可変部品の配置

1. [作図]-[可変部品]-[配置]コマンドをクリックします。

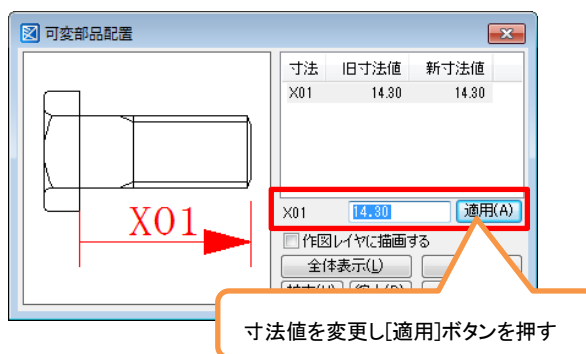
[図面エクスプローラ]が起動します。

配置したい可変部品をダブルクリックします。



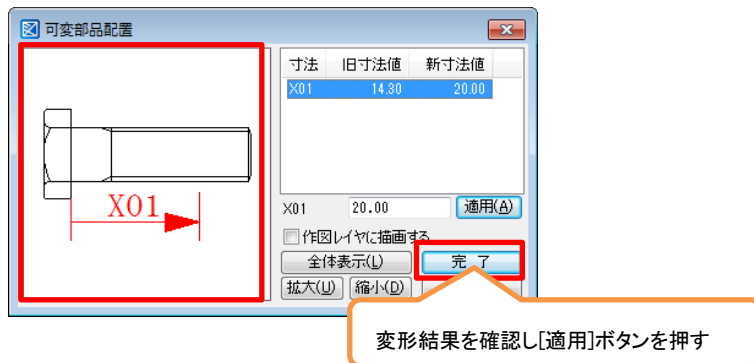
2. [可変部品配置]ダイアログボックスが表示されます。

仮寸法の値を変更し[適用]ボタンを押すと、プレビュー画面で変形結果が確認できます。



[寸法値変更前]

3. 変形結果に問題がなければ[完了]ボタンを押します。



[寸法値変更後]

4. 図面上に変形した部品を配置することができます。

(上側の部品は変形前の部品です。)

